



青き楓

島高だより
平成26年12月号

(通巻第105号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想 湧水抄

心からの「ありがとう」

校長 北浦剛資



島高生の「S」は「Smile」のS。

心からの「ありがとう」が言える人になってほしい。

■去りゆくものに感謝

毎日の掃除で校長室の床を熱心に雑巾がけしてくれる3年生の姿を見て思い出すことがある。前任校で、半世紀を経た老朽校舎の隣にピカピカの新校舎が建ち、やがて教室移動した後は程なく解体されることとなっていた旧校舎の床掃除を当時の3年生が提案し、「ありがとう松高」の想いでひたすらに磨き上げてくれたことである。新年を迎え初日に手を合わせる人は多いが、大晦日に沈む夕日は、ほとんど顧みられることがない。「去る者は日に疎し」の諺はあるが、所詮人間は薄情なものと同じく直る前に、無常の世界に身を置くと見えてくることも多い。大方の3年生は目先のことで余裕がないだろうが、あと2カ月余りで67回生は母校を巣立つことになる。住み慣れた学舎は愛おしく尊い。春になるとそれぞれが新しい世界に飛び込み、甘美な刺激に酔いしれることになるだろうが、去りゆくもの、別れるものに感謝してこそ、新しいものへの喜びも増すというもの。

■感謝し続けてこそ本物

最近の若者は「感謝」という言葉をよく口にしますが、一時的な思いでは感謝の真意は伝わらない。表面的な感謝には、打算や下心が透けて見える。口先だけの感謝はむしろ偽善に近いかもしれない。思い続けることが大切だ。思い続けてこそ本物の感謝となる。自分を包んでくれる有形無形の周りのものに対して、有り難いという思いが心の底から込み上げ、それが形となって「ありがとう」の言葉となり、周りの人を幸せにする。人を幸せにできてこそ「ありがとう」の意味が輝くのだ。「ありがとう」は魔法の言葉。こう言われて嫌な気持ちになる人はいない。感じ方は人それぞれだが、例えば胸の奥がほのかにあったかくなるような心地よさ。「感謝」とは、かけがえのない宝物だ。

— 元気に年の瀬を迎えられた行く年に感謝し、希望に満ちた来る年にもまた感謝する。

1月の主な行事予定

4日(日)	センタープレテスト(～5日)	19日(月)	センター試験自己採点(3年)
6日(火)	冬季補習(全学年・～7日)	20日(火)	特別編成授業開始(3年)
8日(木)	始業式・校内実力(1・2年)		地学講座研究発表(理数科1年)
9日(金)	学習環境調査(1・2年)月曜授業	21日(水)	登校指導(～24日)
10日(土)	土曜講座	24日(土)	進研記述実力(1年)
	2年生中地区学習交流会		進研記述実力(2年)～25日
14日(水)	情報モラルマナー教育		出願校面談(3年)～25日
16日(金)	大学入試センター試験出陣式	27日(火)	まゆやまロード健脚大会
17日(土)	大学入試センター試験(～18日)		PTA 炊き出し
		31日(土)	土曜講座(全学年)

主な部活動成績

【剣道部】

第3回登龍杯争奪全国高校選抜剣道大会

女子団体 **優勝**
男子団体 **第3位**

第15回青龍旗高校剣道錬成大会

女子団体 **優勝**
男子団体 **準優勝**
最優秀選手 杉本 唯子
優秀選手 藤野 聖那
敢闘賞 牧島 竜馬 藤川 航平

平成26年度第23回東早中学校中地区高等学校 学年別剣道大会

高校2年男子の部	優勝 第3位	藤川 航平 黒川 大樹 藤野 聖那
高校1年男子の部	優勝 第2位 第3位	松崎賢士郎 若永 一恵 江川 悠仁
高校2年女子の部	優勝 第3位	松尾倫太郎 藤崎 薫子 大園 望夏
高校1年女子の部	第2位 第3位	中西 蓮詩 寺田 楓 中村 萌乃

【女子ソフトテニス部】

長崎県高等学校ソフトテニス競技1年生大会
優勝 杉本彩楓理・岡本千加ペア

【美術部】

平成26年度長崎県高等学校総合文化祭美術部門
(第45回長崎県高等学校美術展)

優秀賞	松本 唯 (平成27年度第39回全国高等学校総合文化祭へ選出)
	藤田 明里
優良賞	中島 祐子 大平 紘枝 林田 麻里 本田 真子
	大町 寧玖 入選 吉田 阿海 平野 夏季

【写真部】

平成26年度長崎県高等学校総合文化祭第10回写真展
優良賞 明島 キラ



家庭科でクリスマスケーキを作りました!

12月の家庭科の授業で、1年生はクリスマスケーキを製作しました。基本の材料に、好きなお菓子をひとつ加えて、どの班も上手に作る事ができました!



「まゆやまロード健脚大会1/27(火)」の実施に伴い、炊き出しにご協力いただける方を募集中です。ご案内と参加票は、12/24(水)に配布しております。内容をご確認のうえ、多くの保護者の方にご参加いただければ幸いです。よろしくお願い致します。

修学旅行

68回生が12月2日(火)から5日(金)まで3泊4日の日程で東京へ修学旅行に行ってきました。

12月2日(火) 初日 日程:国会議事堂見学・上野地区研修

寒波に見舞われ天候が危ぶまれましたが、雨に降られることなく無事島原市文化会館を8時に出発することができました。



12月3日(水) 2日目 日程:都内大学訪問・事業所班別自主研修

班ごとに事業所に出向き、研修を行いました。思いや苦勞、やりがいなど実際に働いている方々の話を伺い、これまでなかなか実感が湧かなかった将来へのイメージが少し膨らんだように思います。



ふむむむ…
求められる人材とは、
言われたことをやるだけでは
なく
自分から積極的に動く人
か!!

研修先

大塚製薬・大正製薬株式会社・ヤマハ音楽振興会・キリンビバレッジ・ローソン
集英社ジャンプ編集部・森永製菓・日清オイリオ・NHK 放送センター・小学館
カップヌードルミュージアム・松屋 銀座店・TBS・Yahoo! JAPAN・セコム・
ソニーミュージックエンタテイメント・財務省造幣局東京支局・早稲田大学・
ソニーエクスプローラーサイエンス・ホンダウェルカムプラザ・国立健康・栄養研究所・ドンキホーテ秋葉原店・
警視庁本部・海上保安庁・新宿ニューシティホテル・日本 IBM・イタリア大使館・ドイツ大使館・ユニセフ・
キッコーマン国際食文化研究センター・もの知りしょう油館・珈琲・ライ・ストパ・パソナ・ダグツ(株)

生徒感想1

☆ 今回の事業所訪問で印象に残ったのは、様々なセットが設置してあるスタジオや家が一軒建ってしまうほど高価でハイテクなカメラなどもそうですが、一番は「あいさつ」でした。先生方はいつも「働く上で大切なのは『あいさつ』だ」とおっしゃっていました。
実際、TBS に訪問させていただくと、TBS を案内してくださった方のあいさつが印象的で今でも覚えています。スタジオを見学する際、スタッフの方々とすれ違う際に笑顔で「失礼します」「お疲れ様です」とあいさつをされていました。あいさつ一つで何が変わるんだ、なんて生意気なことを考えていた私は、とても恥ずかしくなりました。人と関わる上でやはりあいさつは大切なもので、あいさつ一つで人を励ましたり、元気を与えることができる気がされました。そして、あいさつ一つで何が変わるんだ、なんて思っていたのは私のあいさつの仕方に問題があるのだと気づかされました。私も案内の方のようなとびっきりの笑顔で心のこもったあいさつができるようになりたいと思いました。

生徒感想2

☆ とても有名である早稲田大学がどのような所なのか興味があり、今回早稲田大学を訪問しました。いろいろなものを紹介していただいた中で私が最も印象に残っているのは、図書館にあった絵です。その絵に込められた「私達は学問の道から逃げられない」ということと苦しい教科があっても学問の道は常に目の前に開けているということがとても印象に残りました。そして、私もこれから今まで以上に一生懸命学問に取り組もうと思いました。

12月4(木)・5(金) 3日目・最終日 3日目:クラス別研修・東京ディズニーランド 最終日:太宰府天満宮参拝・九州国立博物館

クラスごとに研修を行い、最後は東京ディズニーランドで東京を満喫。最終日は東京から一路、福岡空港へ。学問の神様、菅原道真公を参拝しました。この修学旅行で普段見ることの出来ない世界に触れ、生徒一人ひとりが今後の進路・将来を深く考えることができました。様々な研修を通して、見聞を大いに広め、貴重な体験を積んでくれたと思います。

研修先

- 1組 東京タワー、お台場、劇団四季 (ライオンキング) 鑑賞
- 2組 築地市場、読売新聞東京工場見学、都内車窓見学、葛飾臨海水族館
- 3組 都内車窓見学、国交省、浅草
- 4組 江戸切子体験、JAXA
- 5組 JAXA、三鷹の森ジブリ美術館
- 6組 高エネルギー加速研究機構、食品総合研究所



歳末助け合い募金活動

12月8日～12日の期間に実施された「歳末たすけあい募金運動」の一環として、9日・10日の2日間、エレナ島原店・ダイエー島原店・ウィルビーの前で街頭募金活動を行いました。集まった募金は長崎新聞社を通じて、共同募金会に寄付いたします。今年も厳しい経済状況の中、たくさんの募金をお寄せいただきました。

「寒いのに大変ね」「頑張って」と温かい言葉をかけてくださる方、買い物を終えて車に乗った後にわざわざ戻ってきて募金してくださる方もいらっしゃり、寒さでこぼれた生徒の頬がゆるむ場面もありました。

集計結果

街頭募金 143,211 円
校内募金 75,649 円

ご協力くださった皆様に心から感謝申し上げます。

